

松田常務理事の司会で始まり、渋谷会長からは、「府中市シルバー人材センターは、2017年に40周年を迎え、ますます高齢者の就業が見直されている。生きがい・仲間との交流等長期計画として会員増を図っていく。2020年には、会員数2,000名を目指したい。事業実績を伸ばしていくために、引き続き東京都と府中市からのご支援・ご協力を頂き、会員の資質向上を図っていききたい」との挨拶がありました。

高野市長からは、「ル・シーニュ開業による、ちょこりんスポット



廃止後、日頃から共働・共助の精神を持って、親切な誘導で市民に対応し、市への苦情が少なかったことを感謝しています。南口地区の再開発によって府中市としての風格が出てきました。府中市としても今後の成熟社会を見据えて、生涯現役の気概を持って生きがい求められるよう、支援していきます」とのご挨拶を戴きました。奈良崎副議長の乾杯で歓談が始まり、力を合わせてより良い府中市を目指していこうという気持ちが表れた和やかな懇談会となりました。



この作品展は、60歳以上の市民の作品を発表する場として、平成24年から開催されております。今回は、絵画を中心に書道・写真・工芸作品等で合計50点の作品が展示されました。更に特別展示コーナーが設けられ、シルバー人材センターの書道教室に通う小中

第7回 ふれあい作品展

2月16日(金)から18日(日)までの3日間、府中グリーンプラザ5階の展示ホールで第7回目の『ふれあい作品展』が開催されました。



学生の元気溢れる書道作品が20数点展示されておりました。会場の受付の横には、シルバー人材センターの紹介コーナーが設置されて、説明パネルや紹介ビデオの放映もされておりました。

なお、この展示会が開催された府中グリーンプラザの建物は、今年の3月末には閉館され、府中グリーンプラザでの開催は今回が最後となりました。